

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月13日

上場会社名 株式会社テクノ・セブン 上場取引所 東
 コード番号 6852 URL <https://www.techno7.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齊藤 征志
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 亀井 康之 TEL 03-3419-4411
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	2,342	8.6	280	30.9	284	32.7	186	58.4
2019年3月期第3四半期	2,157	3.6	214	△19.5	214	△19.3	117	△37.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 211百万円 (259.0%) 2019年3月期第3四半期 58百万円 (△75.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	126.02	—
2019年3月期第3四半期	83.70	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	3,891	2,944	75.7
2019年3月期	3,882	2,774	66.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 2,944百万円 2019年3月期 2,586百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,300	9.8	385	8.9	379	7.7	230	15.9	155.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	1,480,840株	2019年3月期	1,407,840株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	106株	2019年3月期	95株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	1,480,744株	2019年3月期3Q	1,407,780株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

2020年2月13日（木）に当社ホームページ(<https://www.techno7.co.jp>)に掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、米中の通商問題の深刻化により中国経済の減速を受け、輸出を中心とした製造業などの一部に弱い動きが見られたものの、雇用環境の改善や底堅い企業収益などを背景に、全体的には緩やかな回復基調が続きました。

情報サービス産業におきましては、企業の業績回復を背景に、ICT投資は増加しており、更に、AI、IoT、セキュリティなどの先進ICT技術分野への需要も大きく、技術者不足への対応（人材の確保や育成）が大きな課題となっています。

このような状況下、当社グループは、システム事業・事務機器事業をメインに不動産事業を加え、3事業を柱に事業の効率化、利益体質への改善を進めながら事業の拡大に努めてまいりました。

こうした結果、当社グループ全体の当第3四半期連結累計期間の経営成績は、事務機器事業及び不動産事業の連結売上高が前年同期比減収となったものの、システム事業が増収となったことから、連結売上高は2,342百万円（前年同期比8.6%増）となりました。利益面につきましても、連結営業利益は280百万円（前年同期比30.9%増）、連結経常利益は284百万円（前年同期比32.7%増）となりました。また、保有有価証券の一部を売却し、9百万円の投資有価証券売却益を特別利益として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は186百万円（前年同期比58.4%増）となりました。

① システム事業

当事業は、システム・ソリューションやソフトウェアの設計・開発、産業機器や民生機器への組込みシステム開発、IT基盤設計・構築サービスを提供する当社の他に、子会社の㈱テクノ・セブンシステムズが業務系アプリケーション開発を行っております。官公庁関連、クラウドや仮想技術、IoT関連の受注が堅調に推移したことに加え、AI技術を使った案件への参画も増加したことにより、IT基盤設計・構築サービス、組込み及び業務系アプリケーション開発の売上が拡大いたしました。

このことから、システム事業の連結売上高は1,701百万円（前年同期比13.5%増）となりました。また、セグメント利益（経常利益）は、注力顧客や成長分野へのリソースの選択と集中に力を入れて取り組んできたため、204百万円（前年同期比29.1%増）となりました。

② 事務機器事業

当事業は、子会社のニッポー㈱が、「NIPPPO」ブランドのオフィス用事務機を製造、販売しております。消費税増税の駆け込み受注の反動によりタイムレコーダー本体及び消耗品の売上は低迷し、事務機器事業の連結売上高は541百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

反面、数年間取り組んできた様々な原価低減活動が功を奏したことや、利益率の高い開発業務の受託などにより収益が改善され、セグメント利益（経常利益）は、41百万円（前年同期比252.2%増）となりました。

③ 不動産事業

当事業は、所有賃貸不動産の稼働率維持に努めてまいりましたが、一部不動産の契約満了などにより、不動産事業の連結売上高は、99百万円（前年同期比3.8%減）となりました。

また、セグメント利益（経常利益）は、38百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりであります。

① 資産

総資産は、前連結会計年度末に比べ0.2%増加し、3,891百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ7.1%増加し、1,534百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金、並びに預け金が増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ3.8%減少し、2,356百万円となりました。これは主に、投資有価証券が減少したこと等によるものであります。

② 負債

負債は、前連結会計年度末に比べ14.5%減少し、947百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ30.4%減少し、301百万円となりました。これは主に、未払法人税等が増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が減少したこと等によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4.2%減少し、646百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加したこと等によるものであります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ6.1%増加し、2,944百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月20日に開示した2019年3月期決算短信内の2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	848,146	913,667
受取手形及び売掛金	424,600	403,210
電子記録債権	56,104	52,355
商品及び製品	69,938	73,854
仕掛品	1,088	—
原材料及び貯蔵品	22,316	21,056
預け金	1,371	63,785
その他	9,689	6,808
貸倒引当金	—	△95
流動資産合計	1,433,255	1,534,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,238,064	1,248,530
減価償却累計額	△623,558	△643,107
建物及び構築物(純額)	614,506	605,422
機械装置及び運搬具	10,654	10,654
減価償却累計額	△10,654	△10,654
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	127,325	124,542
減価償却累計額	△123,617	△120,494
工具、器具及び備品(純額)	3,708	4,048
土地	1,396,494	1,396,494
有形固定資産合計	2,014,708	2,005,965
無形固定資産		
その他	5,661	4,256
無形固定資産合計	5,661	4,256
投資その他の資産		
投資有価証券	352,401	287,146
繰延税金資産	67,140	43,622
その他	8,981	15,836
投資その他の資産合計	428,524	346,605
固定資産合計	2,448,894	2,356,827
資産合計	3,882,150	3,891,469

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	106,913	91,396
1年内返済予定の長期借入金	100,450	19,200
未払法人税等	48,955	25,964
賞与引当金	70,885	41,362
その他	105,303	123,092
流動負債合計	432,508	301,016
固定負債		
長期借入金	378,720	364,320
役員退職慰労引当金	9,403	8,695
退職給付に係る負債	251,128	239,170
繰延税金負債	—	7,423
その他	35,495	26,610
固定負債合計	674,747	646,220
負債合計	1,107,255	947,236
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	643,259	831,625
利益剰余金	1,826,426	1,970,804
自己株式	△155	△173
株主資本合計	2,569,531	2,902,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,997	41,976
その他の包括利益累計額合計	16,997	41,976
非支配株主持分	188,366	—
純資産合計	2,774,894	2,944,232
負債純資産合計	3,882,150	3,891,469

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	2,157,884	2,342,961
売上原価	1,570,369	1,684,680
売上総利益	587,514	658,281
販売費及び一般管理費	372,924	377,459
営業利益	214,589	280,821
営業外収益		
受取利息及び配当金	3,686	5,740
未払配当金除斥益	—	244
その他	640	2,196
営業外収益合計	4,326	8,181
営業外費用		
支払利息	2,644	2,160
消費税差額金	1,245	—
支払手数料	—	1,560
その他	944	1,202
営業外費用合計	4,833	4,922
経常利益	214,082	284,080
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9,150
特別利益合計	—	9,150
特別損失		
固定資産除却損	0	1,338
投資有価証券評価損	5,613	—
投資有価証券売却損	12,205	—
特別損失合計	17,818	1,338
税金等調整前四半期純利益	196,263	291,891
法人税、住民税及び事業税	56,903	87,036
法人税等調整額	14,987	18,245
法人税等合計	71,890	105,282
四半期純利益	124,373	186,609
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,538	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,834	186,609

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	124,373	186,609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△65,432	24,979
その他の包括利益合計	△65,432	24,979
四半期包括利益	58,941	211,589
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53,516	211,589
非支配株主に係る四半期包括利益	5,424	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。